

青森市子ども会議からの意見一覧

質問内容	意見の内容	学年
Q. 「子どもの権利」普及啓発に関する講座をもっと知ってもらうためには？	自分の悩みを相談したりして、市でいじめをなくす。市のために自分勝手なことをしない。	小学5年
	学校にポスターを貼る。クラスの人に勉強会の宣伝をする。	小学6年
	市では広報あおもりに勉強会について書くといいと思う。自分たちは各小中学校に1枚リーフレットを作って配ることができると思う。	小学6年
	学校やまわりの人に、チラシを配ったりそれを伝える。	中学1年
	SNSへの発信（活動内容をタイムラインに投稿するなど）。	中学3年
	パンフレットを作ってみんなに知ってもらおう。友達を勉強会に誘う。	中学3年
	昨年のようにリーフレットを使うといいと思います。	中学3年
	学校などで、生徒を対象にした講演を開く。	高校1年
	イベント会場にブースを作ってPRする。	高校1年
	PTAの人が集まるときに、リーフレット等を配る。	高校2年
	子ども会議でやっていることを学校内でもやってみる（話し合い等）。	高校3年
	ポスターやリーフレットを使ったお知らせをする。地域の人などに直接話す。	高校3年
	勉強会の様子を動画で流した方が、実際の雰囲気などわかりやすくなると思う。	高校3年
	市：回覧板にチラシをはさむ。自分：友人を通じて拡散する。	高校3年
Q. 児童館を使う子どもを増やすためには？	なるべく児童館などで、いじめをなくす。けんかやいじめなどをしていたら、なるべくとめる。	小学5年
	学校にポスターを貼る。クラスの人に児童館の宣伝をする。	小学6年
	遊具を増やしたり、楽しい講座を開くといいと思う。自分たちはこのことを市に提案することができる。	小学6年
	市で親が働いている職場に、児童館を紹介する。	中学1年
	楽しいイメージをつけさせるために年に1度大きなイベントを行う。	中学3年
	児童館のイベントに参加させることによって、利用が増える。	中学3年
	イベントをするといいと思います。児童館を学校で知ってもらうことが第一かもしれないです。	中学3年
	児童館は、学童保育のイメージがあり、普通に使用出来ない印象があるので、児童館でイベントを開き、リーフレット等配布する。	高校1年
	児童館の中でどういう活動ができるのかをまとめた表を、（昨年子ども会議で作成した）子どもの遊び場まっぷにつけたす。	高校1年
	（昨年子ども会議で作成した）子どもの遊び場まっぷを学校や保育園に置かせてもらう。	高校2年
	もっと学校の近くにつくる。	高校3年
	児童館がどこにあるのかなど広く宣伝する。	高校3年
	昨年作った子どもの遊び場まっぷを様々な人に見てもらおうため、各学校に掲示してもらえばいいと思う。	高校3年
	月に1度どこかの児童館を1つピックアップして紹介する（イベントとか目立ったところか）。	高校3年
Q. 青森市子どもの権利相談センターへの相談者数を増やすためには？	市内に広告のチラシやポスターなどを（みんなで作って）配る。	小学5年
	学校にポスターを貼る。クラスの人に子どもの権利相談センターの宣伝をする。	小学6年
	相談する時は学年、学校、名前を言わなくていいことを知ってもらえば気軽に相談したいと思ってもらえると思う。カウンセラーの顔写真や紹介を書いたリーフレットを小中学生に配ることができると思う。（カウンセラーの方に直接気をつけていることなどをたずねることもできる。）	小学6年
	悩みのある人に、私たちが「子どもの権利相談センター」を紹介する。	中学1年
	名前が堅く、重く感じるので、呼称をつくる。	中学3年
	手紙などで呼びかける。子ども会議に興味をもってもらおう。	中学3年
	ポスターを学校に貼るといいと思います。	中学3年
	学校の先生に、生徒に対して説明してもらえるようにする。	高校1年
	イオンなどでイベントをやる。	高校1年
	学校などで、無料相談会などのイベントを行う。	高校2年
	もっと身近な存在と知ってもらおうこと。小・中学校での講演会。	高校3年
	ポスターやリーフレットを配ったり、CMを放送したりする。助けを必要としている人に話してみる。	高校3年
	カードやリーフレットを配るときに、担任の先生から、少し説明があれば印象にも残ると思う。	高校3年
	地域の掲示板にポスターを設置する。保健室にポスターを貼る。	高校3年

質問内容	意見の内容	学年
Q. いじめをなくすためには？	学校で「いじめアンケート」を取って、全員に本当のことを言ってもらおう。	小学5年
	学校にポスターを貼る。クラスの人にいじめはよくないよ、と言う。	小学6年
	「こども六法」という本を各小中学校に一冊配り、いじめをなくすための意識をもってもらえばいいと思う。「未来ミーティング」は市内小中学生が話し合える良い機会だと思うので、今年も行えばいいと思う。自分たちはこれらのことを市に提案することができると思う。	小学6年
	学校で話し合う。子どもの権利相談センターへ行き相談する。	中学1年
	相手を思いやる気持ちを育てる。各校から子ども会議委員を選出し状況を話し合う。	中学3年
	大人の人と面談する。仲間はずれにしない。	中学3年
	いじめを受けている子の話を聞いてあげることならできると思います。	中学3年
	心の弱い人が、ストレスで人をいじめると思う。生きて行く上で、人脈は大切で、人をいじめても得な事は無いと言うことを教育していく。（子ども会議委員が寸劇してもいいかも）	高校1年
	「これはいじめになるんだよ」ということを気づかせるためにプロモーションビデオなどを作り、各学校へ配布またはCMで流す。	高校1年
	未来ミーティングの内容が各学校で確実に発表されるようにする。	高校2年
	いじめられる側の気持ちになる機会を作って、その経験について生徒同士で話す。	高校3年
	学校に行くのが辛い人には無理に登校させない。フリースクールで勉強する。	高校3年
	大人に言いづらいこともあるだろうから、子ども同士で相談し合える場面や、場所があったらいいと思う。	高校3年
	グループ活動の際、メンバーを自由に決められるようにする。一人になっている子がいたらなるべく声をかけるようにする。	高校3年
Q. 不登校をなくすためには？	はげましの言葉。先生（保健室の先生など）に相談する。	小学5年
	不登校の人の家に行って、学校行こう？と言う。	小学6年
	不登校の理由がいじめならカウンセラーに相談していじめを解消することが必要だと思う。そのために自分たちは子どもの権利相談センターの紹介を、カウンセラーの顔写真などの（入った）リーフレットで行う。	小学6年
	その人に寄り添ってあげる。	中学1年
	趣味や特技を行える場所や機会を増やす。	中学3年
	学校の雰囲気を良くする。	中学3年
	不登校になりそうな子、不登校の子の話を聞くことはできると思います。	中学3年
	学校に行けなくても、様々な受け皿となる施設はあるので登校にこだわらなくてもいいと思う	高校1年
	未然防止として、もっとオリエンテーションの時間をつくって友達をつくる。	高校1年
	自分たちは、クラスで孤立する人をつくらぬよう、ひとりである人を見たら積極的に声をかけることが必要だと思う。	高校2年
	不登校になってしまう原因をよく聞く。	高校3年
	気軽に相談できる場所を多く設ける。不登校を出すような学校、クラスにしないように1人1人の意識が大事だと思う。	高校3年
	不登校の子のところへ、同じクラスの子が遊びに行き、一人でも仲の良い子ができたら、学校に行けると思う。不登校の子と、その子のクラスメイトが遊べる機会を作る。	高校3年
	市：学校のなかに不登校になってしまった子専用の教室を作る。自分たち：普段どおり接する。	高校3年